

令和8年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門				
政策No	21	政策名	区民が健やかで安全に暮らすことができるよう支援する	
所管部	みなと保健所		関係部	
2 政策のめざす方向性				
感染症対策に関する正しい知識の普及や感染防止に効果があるとされる予防接種の推進、医療体制の整備、関係機関との連携強化を行い、予防、医療、リハビリテーション等の体制を整え、安全・安心で健康的な生活を守ります。また、様々な育児支援を行うことで保護者の不安等を解消し、安心して育児に取り組むことができる環境を確保します。さらに、区民が自ら健康づくりに取り組み、生涯を通じて健康に暮らせるよう、健康づくりに関する正しい知識の普及・啓発、生活習慣病の早期発見・早期治療を目的とする健康診査・がん検診等の実施、全世代にわたる食育の取組を推進するとともに、「みんなで支え合って、生きる道を選ぶ港区」を実現するため、健康や福祉の視点に加え、社会・経済的な視点を含む包括的取組により自殺対策を推進します。食品、医薬品及び医療の安全や施設的环境衛生については、関係法令の遵守を事業者等に助言・指導し、自主的な衛生管理を推進するとともに、ねずみ・衛生害虫対策や動物愛護の取組を充実させ、快適で安心できる生活環境を確保します。				
SDGsとの関係				
3 成果指標【政策について満足している区民の割合】				
指標の推移		計画目標値	達成度 ※	※評価区分 A：達成（達成度が100%以上） B：相当程度達成（達成度が70%以上100%未満） C：未達成（達成度が70%未満）
現状値	実績			
令和2年度	令和7年度	令和8年度		
36.9%	46.3%	48.2%	B	
これまでの取組と成果	HIV・性感染症対策として無料の夜間即日検査体制を拡充するとともに、麻しん風しんの予防接種未接種者への接種勧奨を強化しました。また、区内病院と連携した災害医療合同訓練をコロナ禍以降数年ぶりに実施しました。子どもの健康分野では、産後母子ケア宿泊型ショートステイ事業の拡充や3歳児健診の土曜実施等による受診率向上などに取り組みました。あわせて、生活習慣病予防やがん検診、こころの健康づくりに関する普及啓発を推進するとともに、食品衛生情報発信の充実や住宅宿泊事業届出施設への指導などにより、区民の健康確保と安全・安心な生活環境の整備を進めました。			
課題と今後の方向性 ※未達成の場合は原因分析を含む	「匿名、無料、即日」のHIV・性感染症検査の認知が不十分なため、周知啓発活動の強化を行うとともに、安心して検査を受けられる環境を整備します。3歳児健診については、受診率の低い外国籍の方を含め、未来所者へのフォローを徹底し、受診率の向上に努めます。がん検診は、精密検査未把握率が高いなどの現状を踏まえ、周知啓発を強化します。			
4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）				
No	施策名	成果指標	施策評価	
①	感染症対策の強化・推進	HIV・性感染症の保健所及び医療機関検査件数	B	
		麻しん・風しん定期予防接種の接種率（第1期・第2期）		
②	安心できる地域保健・地域医療体制の推進	災害医療合同訓練等参加者の満足度	A	
		医療と介護の合同研修会参加者の満足度		
③	子どもの健康を守る体制をつくる	産後母子ケア宿泊型ショートステイ事業利用者数	A	
		3歳児健康診査の受診率		
④	全世代にわたる健康増進と食育の推進	生活習慣の改善意欲・取組率	C	
		がん検診受診率		
⑤	こころの健康づくり、自殺対策の推進	職場のメンタルヘルス講演会において理解できた受講者の割合	A	
⑥	快適で安心できる生活環境の確保	区ホームページの食品衛生情報へのアクセス数	B	
		住宅宿泊事業届出施設に関する苦情件数		

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額	11,127,451	11,683,539	11,739,647
流用・補正	△948,398	△247,876	－
決算額	9,289,430	9,006,770	－
執行率	97.66%	78.76%	－
6 政策を取り巻く社会経済情勢等			
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など	コロナ禍を経て、令和6年7月に国が「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」を抜本的に改定するなど、感染症対策や健康危機管理の重要性が再認識されています。また国は令和6年度から「健康日本21（第三次）」を開始し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を総合目標に掲げています。テレワークの普及や生活様式の変化により、身体活動量の低下、生活習慣の変化、メンタルヘルスへの影響などが指摘されており、健康課題は、生活習慣病に留まらずこころや社会的要因など多様化・複雑化しています。また物価高騰等により家計への負担が増し、健康格差や受診控えにつながるおそれも指摘されています。		
区民ニーズ等 ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見 など	コロナ禍を契機に感染症への不安や健康リスクへの意識が高まり、予防接種の安全性や効果について、分かりやすい情報提供と安心して接種できる体制の整備が求められています。また昨年度実施した保健福祉基礎調査では、健康づくりの必要性を感じている割合は全世代で高く、特に働き盛り世代で健康づくりへの意識が高まっています。		
7 所管課による評価【一次評価】			
政策の達成状況	感染症対策の強化・推進については、HIV・性感染症の検査事業及び麻しん風しん予防接種の未接種者への接種勧奨に積極的に取り組み、目標値を相当程度達成しています。安心できる地域保健・地域医療体制の推進については、コロナ禍後、社会全体が変化する中訓練や研修の手法を工夫し、計画目標を達成できる見込みです。子どもの健康を守る体制づくりについては、妊娠期から産後の母子支援に積極的に取り組み、目標を達成しています。全世代にわたる健康増進と食育の推進については、がん検診受診率が実績としては増えているものの、計画目標を達成することが難しい状況です。こころの健康づくり、自殺対策の推進については、自殺予防のための情報提供、普及啓発に積極的に取り組み、計画目標を達成できる見込みです。快適で安心できる生活環境の確保の取組のうち住宅宿泊事業については、監視件数を増やすことで苦情件数の減少につながるよう、目標の達成に向けて取り組みます。政策全体としては、政策目的を概ね達成しています。		
達成状況の要因 ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	感染症対策の強化・推進については、「匿名・無料・即日」検査事業を実施することで、希望する人が安心して検査を受けられる環境を整えることができました。子どもの健康を守る体制づくりについては、産後母子ケア宿泊型ショートステイ事業で新たに利用可能施設を増やすなどして、指標となる利用者数が大きく増加しました。全世代にわたる健康増進と食育の推進のがん検診受診率向上の取組では、受診率は増加しているものの、職域検診や人間ドック等の利用が多いことや転出入者が多いことなどを要因として、目標達成には至りませんでした。こころの健康づくり、自殺対策の推進については、他事業との合同実施により参加者の増加や理解度の向上などの成果が得られました。快適で安心できる生活環境の確保の食品衛生情報の周知啓発については、窓口や監視指導の場など、対面での情報提供の機会が増え情報が充足されたことで、区ホームページなどネット情報の閲覧増加につながらなかったことが考えられます。		
課題と今後の方向性	感染症対策の強化・推進については、感染症対策に関する正しい知識の普及や予防接種の更なる推進を図るなど、新たな感染症に対する体制の整備が必要です。安心できる地域保健・地域医療体制の推進については、各医療機関、警察や消防とも協力し、災害時医療の充実を図ります。子どもの健康を守る体制づくりについては、令和8年度から新たに産婦健康診査、1か月児健康診査及び5歳児健康診査を実施するなど、今後も妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の更なる充実を図ります。全世代にわたる健康増進と食育の推進のがん検診受診率向上の取組では、区民が主体的に健康づくりに取り組み、生涯を通じて健康に暮らせるよう、取組を一層推進していく必要があります。快適で安心できる生活環境の確保の住宅宿泊事業に関する取組では、届出施設数の増加に伴い苦情件数も増えているため、開業の相談時や新規届出時の監視時に適切に運営するよう指導するなどして、区民の快適で安心できる生活環境を確保します。		
8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】			
評価	B：政策目的を相当程度達成		
政策の達成度	・成果指標「職場のメンタルヘルス講演会において理解できた受講者の割合」は、メンタルヘルスに関心がある人の理解度であることに留意する必要があります。 ・区民満足度は中間目標の上方修正により未達成に見える面はあるものの、当初目標は十分に達成しており、評価は「B」に値します。 →以上を踏まえ、評価は「B」とします。		
MINATOビジョン策定に向けた今後の政策の方向性 ・重点的に取り組むべき施策 など	・成果指標「職場のメンタルヘルス講演会において理解できた受講者の割合」について、適正な目標値を設定する必要があります。 ・がん検診については、仕事をしている人が受診しやすい環境整備と病院によってばらつきがある受診体制の改善が必要です。		

施策評価シート

政策No	21	政策名	区民が健やかで安全に暮らすことができるよう支援する
施策No	①	施策名	感染症対策の強化・推進
目標・期待する成果	コロナ禍を経て、新たな感染症に対する体制の整備が求められています。感染症対策に関する正しい知識の普及や感染防止に効果があるとされる予防接種の更なる推進により、区民が健やかで安心して質の高い生活ができるよう支援します。		
SDGsのゴールとの関係	 		
施策担当課	保健予防課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
HIV・性感染症の保健所及び医療機関検査件数		832件	1,470件	1,492件	1,440件	1,700件	1,900件
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	東京都において女性の梅毒患者数が急増している状況を考慮し、東京慈恵会医科大学附属病院と連携し夜間即日検査「レディース検査みなと」を実施しました（検査実施数15件）。検査実施数は、保健所検査、夜間即日検査、aiチェック合計して1,492件（昨年比+22名）となりました。			「匿名、無料、即日」で検査を受けることができるH I V・性感染症検査の認知が不十分なため、周知啓発活動を強化していきます。		
令和7年度	a	東京慈恵会医科大学と連携し、検査から診断、治療と切れ目なくアプローチができる体制のもと匿名・無料で男女問わず受検ができる夜間即日検査「ふらっと検査みなと」、女性限定夜間即日検査「レディース検査みなと」を実施しました。検査実施数は、保健所検査、夜間即日検査、aiチェック合計して1,440件（昨年比-52名）となりました。			「匿名、無料、即日」で検査を受けることができることを幅広くかつ効果的に周知すると共に、検査を希望する人が安心して検査を受けられる環境を整える必要があります		
令和8年度	b	「匿名、無料、即日」で検査を受けることができることを区内ホームページ、X（旧Twitter）、デジタルサイネージ、区内薬局等へのチラシ配布など、幅広く周知すると共に、性感染症検査に関心のあると思われるグループに選択的に周知を行います。引き続き、保健所検査（年24回、うち3回は女性限定）、夜間即日検査（年4回、うち1回は女性限定）、aiチェックを実施します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
麻しん・風しん定期予防接種の接種率（第1期・第2期）		第1期	第1期	第1期	第1期	第1期	第1期
		94.5%	82.5%	88.5%	集計中	95.0%	95%
		第2期	第2期	第2期	第2期	第2期	第2期
		80.6%	83.4%	80.5%	集計中	95.0%	95%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	a	定期予防接種の対象者に対し、予診票とともに接種案内を、接種対象期間の前月末に郵送しました。 さらに、12月時点で未接種の方1240名にはがきを個別送付するなど、接種勧奨を実施しました。			伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、予防接種法に基づき予防接種を実施しています。定期予防接種のうちA類疾病に係る未接種者に対しては、予防接種を受けることを勧奨することにより、接種率の向上に努めます。		
令和7年度	a	保育園・幼稚園入園時や小学校就学時の健診時に、接種勧奨チラシを配布しました。 また、12月時点で未接種の方約1000名にはがきを個別に送付するなど、積極的な接種勧奨を実施しました。			接種可能な医療機関一覧について、常に最新の情報をホームページに公開するとともに、接種勧奨チラシや、未接種者に対する勧奨はがきの個別送付など、様々な媒体を活用して、機会を捉えて繰り返し周知することにより、引き続き接種率の向上に努めます。		
令和8年度	a	様々な媒体を活用して、予防接種の効果的な勧奨に努めることにより、接種率の向上に取り組めます。 また、都内の麻しん患者の報告数が増加傾向にあることを踏まえ、教育委員会、子ども家庭支援部と連携し、保育園・幼稚園児の保護者に対し、麻しんに関するワクチン接種の情報提供を追加的に行います。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	B：計画目標を相当程度達成できる
施策の達成状況	・HIV・性感染症の検査事業及び麻しん風しん予防接種の未接種者への接種勧奨に積極的に取り組み、目標に掲げる感染症対策の強化・推進に繋がりました。 ・施策の評価は、成果指標②は計画目標値を達成できる見込みであるものの、成果指標①は89%の達成見込みのためBとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・成果指標「HIV・性感染症の保健所及び医療機関検査件数」について、「匿名・無料・即日」検査事業を実施し、検査を希望する人が安心して検査を受けられる環境を整えることができました。 ・成果指標「麻しん・風しん定期予防接種の接種率」について、様々な媒体を活用して未接種者への接種勧奨を行い、接種率の向上に繋がりました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	引き続き、新たな感染症に対する体制の整備が求められています。感染症対策に関する正しい知識の普及や感染防止に効果があるとされる予防接種の更なる推進を図っていきます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	21	政策名	区民が健やかで安全に暮らすことができるよう支援する
施策No	②	施策名	安心できる地域保健・地域医療体制の推進
目標・期待する成果	新型コロナウイルス感染症により希薄化してしまった人とのつながりを取り戻し、更なる医療体制の整備や関係機関との連携強化を行い、予防、医療、リハビリテーション等の体制を整え、安全・安心で健康な生活を守ります。		
SDGsのゴールとの関係	  		
施策担当課	地域医療連携担当		関係課 健康推進課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
災害医療合同訓練等参加者の満足度		-	71.0%	70.0%	50.0%	85.0%	85.0%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	a	区内12病院（緊急医療救護所設置予定病院）での合同訓練を実施しました。夜間にはDMAT事務局次長を講師に迎えトリアージを含む災害医療研修を実施しました。			新型コロナウイルス感染症の流行以降初めて、区内12病院での合同訓練を実施しました。数年ぶりの本格的な訓練実施のため課題もありましたが、今後はより実効性のある訓練となるよう内容についても検討していきます。		
令和7年度	b	区内13病院と通信訓練を実施しました。また、各病院ごとにテント設営訓練、トリアージ訓練、搬送訓練、調剤エリア設置訓練を実施しました。			病院の訓練時間と三師会の参加可能時間が異なり参加が難しい状況がありました。今後は、診療所等の休診の多い日や訓練時間帯を2部制にするなど、より多く訓練に参加できるよう工夫します。		
令和8年度	a	事前の調整を行い、より多くの参加者が訓練に参加可能な日時を設定します。希望がある場合は災害全般、トリアージなどの研修を行うなど参加者の要望に沿い、より実効性がある訓練となるよう努めます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
医療と介護の合同研修会参加者の満足度		-	68%	69%	71%	85%	85%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	令和5年度から対面による講座を実施しています。今年度は高齢者支援課と共催で実施しました。また、「区中央部地域リハビリテーション支援センター」指定病院が実施するweb研修会の紹介を行いました。			参加者が少ないため、周知方法等について検討の必要があります。また、今後はweb等での参加も可能とするなど、より参加しやすい形での実施方法等についても検討します。		
令和7年度	a	「区中央部地域リハビリテーション支援センター」指定病院が実施するweb研修会の紹介を行いました。区民講座として、介護事業者向けと区民向けとに分け、介護予防の観点から講座を実施しました。			参加者を増やすためにwebや介護事業者向けのサイトに掲載するなどの工夫をしましたが、参加者増には繋がりませんでした。今後は参加しやすい時間帯を検討するなど、参加者の増加に繋がるよう工夫します。		
令和8年度	a	引き続き「区中央部地域リハビリテーション支援センター」指定病院が実施するweb研修会の紹介をするとともに、リハビリテーションの区民講座を実施し、地域の中で自立した生活ができるような体制作りを行っていきます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	・コロナ禍で中止となっていた事業が新たな体制で再開しました。病院の働き方改革や感染対策など社会全体に変化が見られるなかやり方等を工夫し事業に当たってきました。今後もより柔軟に対応をして行く必要があります。 ・成果指標①については、訓練内容の充実を図る一方で、訓練に対する課題も出てきます。課題解決のため支援業務委託を入れ体制を強化しますので、計画目標値を達成見込みであることから、施策としての評価はAとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	事前の調整や準備を行うことで、実施内容や開催日時などの調整を図りました。複数の団体が参加をする際はさらにきめ細やかな調整を行う必要があると感じています。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	災害医療については、区の災害力とともに各病院や三師会の対応力を上げる必要性があります。警察や消防とも協力し、災害時医療の充実を図って行きます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	21	政策名	区民が健やかで安全に暮らすことができるよう支援する
施策No	③	施策名	子どもの健康を守る体制をつくる
目標・期待する成果	産後の母親は、慣れない育児や家族等の支援がなく休息が取れないことで、孤立感や育児不安を感じることがあります。出産の前から妊婦が身近な場所で医療専門職に気軽に相談することができる伴走型の相談支援体制を確保するとともに、様々な育児支援を行うことで不安等を解消し、安心して育児に取り組むことができる環境を確保します。		
SDGsのゴールとの関係	     		
施策担当課	健康推進課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産後母子ケア宿泊型 ショートステイ事業利用 者数		85人/年	514人/年	661人/年	778人/年	800人/年	384人/年
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	産後において、心身のケア、育児の支援等母子の健康の維持及び増進に必要な支援を行う産後母子ケア宿泊型ショートステイ事業について、希望者がより利用することができるよう、利用可能施設を7施設から8施設に増加しました。			引き続き、産後母子ケア宿泊型ショートステイ事業をはじめとした産後ケア事業の充実に努めるとともに、出産・子育て期の不安を軽減し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実に取り組みます。		
令和7年度	a	産後母子ケア宿泊型ショートステイ事業について、利用可能施設を8施設から、メンタルヘルスケアが充実した施設を新たに加えた9施設とし、利用者の選択肢と利便性の向上、精神的支援を要する母子への対応を充実させました。			産後母子ケア宿泊型ショートステイ事業をはじめとした産後ケア事業の更なる充実となるよう、利用可能施設の更なる増加など、支援の拡充に取り組みます。		
令和8年度	a	産後において、心身のケア、育児の支援等、母子の健康の維持及び増進に必要な支援を行う産後ケア事業について、広く周知に努めるとともに、希望者がより利用することができるよう、利用可能施設の更なる増加に取り組みます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
３歳児健康診査の受診率		79.3%	88.6%	93.2%	93.0%	93.0%	92.9%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	健診の時間を午前中にも設定し受診しやすくするとともに、土曜日に開催する日程も設けて受診機会を増やしました。また、３歳児健診の周知内容の工夫や未受診者へのフォローを徹底しました。			日本人における数字は93.2%ですが、外国人も含めた受診率は81.5%であるため、今後も３歳児健診の重要性を周知し、必要な健診に来所していただくための周知の工夫をしていきます。		
令和７年度	a	健診を平日午前中や土曜日に開催し、未来所者には電話・手紙・訪問等によるフォローを徹底しました。外国籍の人数を除いた受診率は93.0%、外国籍の人数を含めた受診率は84.6%と昨年度と大きく変化はありませんでした。			未来所者へのフォローを徹底し、幼児期における３歳児健診の重要性を周知と、健診に来所していただくための方法について検討していきます。		
令和８年度	a	未来所者へのフォローを徹底し、幼児期における３歳児健診の重要性を周知と、健診に来所していただくための方法について検討していきます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	・妊娠期から産後の母子の支援に積極的に取り組み、目標に掲げる「産後母子ケア宿泊型ショートステイ事業利用者数」の増加が達成しました。 ・施策の評価は、成果指標①及び②ともに計画目標値を達成する見込みのためAとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	成果指標「産後母子ケア宿泊型ショートステイ事業利用者数」について、新たに利用可能施設を増加するなど、より利用しやすい事業となるよう取り組みました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	令和8年度から新たに産婦健康診査、1か月児健康診査及び5歳児健康診査を実施するなど、今後も妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の更なる充実を図ります。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	21	政策名	区民が健やかで安全に暮らすことができるよう支援する
施策No	④	施策名	全世代にわたる健康増進と食育の推進
目標・期待する成果	区民が自ら健康づくりに取り組み、生涯を通じて健康に暮らせるよう、健康づくりに関する正しい知識の普及・啓発、生活習慣病の早期発見・早期治療を目的とする健康診査・がん検診等の実施、全世代にわたる食育の取組を推進します。		
SDGsのゴールとの関係	      		
施策担当課	健康推進課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
生活習慣の改善意欲・取組率		79.4%	75.6%	77.9%	78.9%	80.4%	80.4%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	生活習慣病の予防など正しい健康情報の普及・啓発を目的とする教室として、講座を6回（122名参加）、食事診断を45回（1,002名参加）しました。また、健康増進センターにおける健康度測定は65回実施、232名の参加でした。			新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和2年度以降、運動する機会が減ったことなどから取組率は下がりましたが、コロナ禍が明け、率も改善傾向です。引き続き、健康講座等を通して、生活習慣の改善につなげていきます。		
令和7年度	a	生活習慣病の予防など正しい健康情報の普及・啓発を目的とする教室として、講座を6回（148名参加）、食事診断を46回（1,000名参加）しました。また、健康増進センターにおける健康度測定は65回実施、277名の参加でした。			生活習慣の改善意欲・取組率については増加傾向です。引き続き、健康講座等を通して、生活習慣の改善につなげていきます。		
令和8年度	a	生活習慣病の予防など正しい健康情報の普及・啓発に向けて、関係機関とも連携しながら取り組みます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
がん検診受診率		26.0%	24.2%	23.0%	30.2%	32.1%	50.0%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	c	子宮頸がん検診においても、とりわけ受診率の低い若年層に向け、専用リーフレット作成、女性トイレでの啓発動画放映、成人式での資料配布、企業連携を活用した高校生への啓発事業などを行いました。			子宮頸がんに限らず、他のがん検診も含めて、受診率が低い世代等を分析し、効果的な周知啓発に努めてまいります。		
令和７年度	c	令和６年度と同様に啓発事業の取組に加え、子宮頸がん検診の受診勧奨リーフレット送付対象の拡大、啓発動画のリニューアルをしました。			東京都からは、港区において精密検査受診率が低いことに加え、精密検査未把握率が高いことが指摘されています。このため、周知啓発の強化など、がん検診の精度管理の向上に向けた取組を一層推進してまいります。		
令和８年度	c	区民に対する周知、受診勧奨の強化とともに、受診しやすい環境を整えていきます。また、がん検診における精密検査の精度管理の向上のため、令和7年度検診分の精密検査結果の把握方法と情報提供料の見直しを行います。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	C：計画目標を達成できない
施策の達成状況	- 生活習慣病の予防などの健康情報に関する様々な取組を行った結果、目標に掲げる生活習慣の改善意欲・取組率については増加傾向です。 - 一方で、成果指標②について、実績としては増えているものの、計画目標値を達成することが難しい状況であることから、施策としての評価はCとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	港区では、職域検診や人間ドック等を受診する区民もいるため、区が実施するがん検診の受診率に反映されにくい構造があります。また、転入・転出者が多く、検診制度の周知が十分に行き届いていないことが考えられ、受診率は増加しているものの、目標達成には至りませんでした。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	令和6年4月に策定された「健康日本21（第三次）」（令和6年度～令和17年度）との整合を図るとともに、「港区が実施するがん検診のあり方検討会」や「港区地域・職域連携推進協議会」での議論なども踏まえながら、区民が主体的に健康づくりに取り組み、生涯を通じて健康に暮らせるよう、取組を一層推進していく必要があります。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	21	政策名	区民が健やかで安全に暮らすことができるよう支援する
施策No	⑤	施策名	こころの健康づくり、自殺対策の推進
目標・期待する成果	「みんなで支え合って、生きる道を選べる港区」を実現するため、健康や福祉の視点に加え、社会・経済的な視点を含む包括的取組により、こころの健康づくりと自殺対策を推進します。		
SDGsのゴールとの関係	 		
施策担当課	健康推進課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
職場のメンタルヘルス講演会において理解できた受講者の割合		100.0%	89.0%	92.4%	93.7%	100.0%	100.0%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	a	健康づくり系の「働き盛り世代の健康づくり強化支援事業」と類似した内容だったため、合同で開催しました。参加者も多く、理解度も向上しており、成果を上げることができました。			引き続き、港区に多い働き盛り世代へのこころの健康づくりに効果的、効率的な運用を探り、講演内容をわかりやすく、具体例を交えるなど工夫していきます。		
令和7年度	a	「働き盛り世代の健康づくり強化支援事業」と合同で開催することで、多くの方に参加していただき、こころの健康づくり、自殺対策についてご理解いただけました。			参加者に伝わりやすい具体例を交えるなど、講演内容をよりわかりやすくすることで、働き盛り世代への理解が深まるよう取り組みます。		
令和8年度	a	「働き盛り世代の健康づくり強化支援事業」と合同で開催することで、多くの方に参加していただき、こころの健康づくり、自殺対策についての理解が深まるよう取り組みます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移				計画目標値
		現状値	実績		見込値	
		令和2年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)	
令和6年度						
令和7年度						
令和8年度						

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	・自殺予防のための情報提供、普及啓発に積極的に取り組み、こころの健康づくり及び自殺対策を推進しました。 ・施策の評価は、成果指標①の計画目標値を達成する見込みのためAとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	成果指標「職場のメンタルヘルス講演会において理解できた受講者の割合」について、「働き盛り世代の健康づくり強化支援事業」と合同で開催することで、参加者の増や理解度の向上などの成果を得られました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	「みんなで支え合って、生きる道を選べる港区」を実現するため、健康や福祉の視点にとどまらずに包括的に取り組むことで、こころの健康づくり及び自殺対策を一層推進します。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	21	政策名	区民が健やかで安全に暮らすことができるよう支援する
施策No	⑥	施策名	快適で安心できる生活環境の確保
目標・期待する成果	食品、医薬品及び医療の安全や施設の環境衛生に関する法令遵守を事業者等に助言・指導し、自主的な衛生管理を推進するとともに、ねずみ・衛生害虫対策や動物愛護の取組を充実させ、快適で安心できる生活環境を確保します。		
SDGsのゴールとの関係			
施策担当課	生活衛生課	関係課	

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
区ホームページの食品衛生情報へのアクセス数		2,260アクセス/年	3,000アクセス/年	3,826アクセス/年	2,740アクセス/年	3,300アクセス/年	3,300アクセス/年
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	食品衛生に関する制度改正や必要な情報を、速やかにホームページに掲載し、情報提供に努めました。内容を分かりやすく伝えるため、動画やリーフレットを作成・公開するなど発信の充実を図ったことで、区民や事業者の関心が高まりました。			動画や見やすい図表を活用し、食品衛生の考え方を直感的に伝える工夫を進めます。あわせて、SNSでの発信やリーフレットへの二次元コードの掲載により、ホームページへの誘導と情報のアクセス性向上を図っていきます。		
令和7年度	b	動画や見やすい図表を活用し、食品衛生の考え方を直感的に伝える工夫を進めました。あわせて、SNSでの発信やリーフレットへの二次元コードの掲載により、ホームページへの誘導と情報にアクセスしやすい環境づくりが進みました。			アクセス数は目標値に達しませんでした。要因として、窓口や監視指導の場で必要な情報を個別に説明する機会が増え、対面で情報が充足されたことが考えられます。今後は、対面での案内に加え、詳細情報の確認先としてホームページをより効果的に周知し、閲覧機会の増加につなげていきます。		
令和8年度	a	申請時や監視指導時の対面での案内に加え、詳細情報の確認先としてパンフレット等を活用し、ホームページをより効果的に周知し、閲覧機会の増加につなげていきます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和８年度は見込み）			
		令和２年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	
住宅宿泊事業届出施設に関する苦情件数		19件/年	25件/年	18件/年	50件/年	40件/年	25件/年
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和６年度	a	届出施設の立入検査を実施し、苦情要因の対策について徹底するよう指導しました。 また、苦情発生施設については情報確認後速やかに現地確認を行い、再発防止を指導しました。			宿泊者に起因する苦情の割合も多いことから、事業者に対し苦情の要因について事例を共有するなどし、事前の対策についてより徹底して実施するよう注意喚起を行います。		
令和７年度	c	苦情発生施設については情報確認後速やかに現地確認を行い、再発防止を指導しました。また、新規の届出時に苦情が発生しないよう注意喚起しました。			事前に対策することで未然に防ぐことができる苦情もあるため、事業者に対し、事前の注意喚起を行います。		
令和８年度	c	引き続き、苦情発生施設については情報確認後速やかに現地確認を行い、再発防止を指導します。また、新規の届出時に苦情が発生しないよう注意喚起します。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	B：計画目標を相当程度達成できる
施策の達成状況	・ホームページの食品衛生情報のアクセス数について、新たな動画やわかりやすい図表の活用、さらにSNS等での情報発信を行うなど工夫をしましたが、目標値に達しませんでした。 ・令和7年度は監視件数を増やしましたが、大幅に苦情が増え、目標を達成できませんでした。 ・施策の評価は、成果指標①については、計画目標値を達成する見込みですが、成果目標②が目標達成できない見込みのためBとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・食品衛生情報について、窓口や監視指導の場で必要な情報を個別に説明する機会が増え、対面で情報が充足されたことで、ホームページへの閲覧機会につながりませんでした。 ・令和6年度末に比べ、令和7年度末は施設数が200件以上、割合として1.3倍以上増えたことが苦情が増えた要因と考えられます。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	・食品衛生情報を分かりやすく伝えるために作成したコンテンツを、対面での案内に加え、パンフレットやSNS等を活用し、詳細情報の確認先としてホームページへ誘導することで、食の安全・安心の確保につなげます。 ・住宅宿泊事業の届出施設数が増えたことで苦情の件数が増えているため、開業の相談時、新規届出時の監視時、適切に運営するよう指導します。 - また、住宅宿泊事業法の問題点については、今後特別区長会から国に要望を伝える予定です。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）